

# 困窮者支援 政治に望む

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、生活困窮者支援現場を訪れる人の数が増えることを知りません。物価高騰がさらに追い打ちをかけています。参院選は暮らしの問題をどう解決するのかが大争点になっています。

(小酒井昌田)

6月下旬、新宿・東京都庁前で行われた食料配布には505人が並びました。2年前に100人程度だった人数は増え続け、今年1月に500人を超えました。

## 八方ふさがり

0歳の赤ちゃんをベビーカーに乗せた女性(28)は「参院選では、片親支援を政策に掲げる党に入れませ」と話します。4歳と2歳、0歳の子どもを育てるシングルマザー。正社員でしたが、子どもが体調を崩すと仕事を休まざるを得ず、「解雇されました」。半年前からハローワークに通っていますが仕事が見つかりません。元夫は養育費を支払いません。子ども手当など月約10万円が生活費で、半々が家賃に消えています。「おむつはバーゲンでしか買えない。家賃が安い都営住宅に入るために、倍率が低い物件を選んで

## コロナ・物価高 延びる列

当たらなかった」生活保護の利用を希望しますが「福祉事務所から水際作戦を呼びました。子ども手当の支給を理由に申請紙をもらえなかった。もう八方ふさがり。普通の生活がしたい」

建築資材の関口幸生さん(66)は、新型コロナウイルスの影響で仕事が週5日から週1日に激減。資材高騰が追い打ちをかけます。「ガソリン代は上がるし、塗料」



食料配布用に弁当を袋に詰めるボランティアの人たち＝6月25日、東京都豊島区

万円台になった。高騰した分利益が減った。生活保護を受けようと思っている」消費税減税が必要だと述べ、「自民党には入れない。国民の暮らしを守る政治が必要だ」。

同日、東京・池袋にある公園で行われた弁当配布には495人が並びました。ボランティアの鈴木玲伊(れい)さん(40)は、生活困窮者を支えるのは国の責任だとして「今の政治は、社会的に弱い人を痛めつけ

## この現実見れば自民支持できぬ

ている。この現実を見れば自民党支持にはならない」と語ります。

NPO法人「TENOH ASIA」のほし「の酒野醫司事務局長は、困窮者支援の利用者が右肩上がりだと指摘し「消費税減税など思い切った政策をしてしかるべきです」と言います。

## 共産党までも

列に並んだフリーランスで映像関係の仕事に携わる男性(40)は、参院選で日本共産党の山添拓東京選挙区候補に1票を入れました。

「SNSで共産党の国会論戦を見た。社会的弱者を取り上げて国会で追及している一番まともな政党だ」と評価。「コロナで仕事がなくなり、収入がないけど物価は上がる。長引くコロナで仕事があるか今後も不透明。普通に働きたいので、政治が邪魔をしている」

新宿で支援したNPO法人自立生活サポートセンター・もやいの大西運理理事長は、生活困窮者対策に備え「支援現場に500人も来る社会は健全じゃない。政治を変えないといけない」と話しました。